

緊急ニュース

オーディオ界で人気沸騰のジャズ歌手
Lyn Stanley が「音展」にやって来る

編集委員 森 芳久

今世界の各オーディオシーンで最も人気を集めている歌手がいる。それが女性ジャズ歌手の Lyn Stanley (リン・スタンリー)だ。日本でも彼女の LP や CD が輸入発売され、その評価は急速に高まっている。その彼女が「音展」オーディオ・ホームシアター展 2015 (お台場 TIME24 にて 10月16-18日開催) にやって来るという嬉しいニュースが入った。

初日の 16 日には麻倉怜士氏のセミナー、そして慶応ライトミュージックソサエティとのジョイントコンサート (要予約、<http://www.oto10.jp/event/concert>) でその美声を披露してくれるとのこと、彼女のファンはもちろん、オーディオファン、ジャズファンには嬉しい贈り物だ。

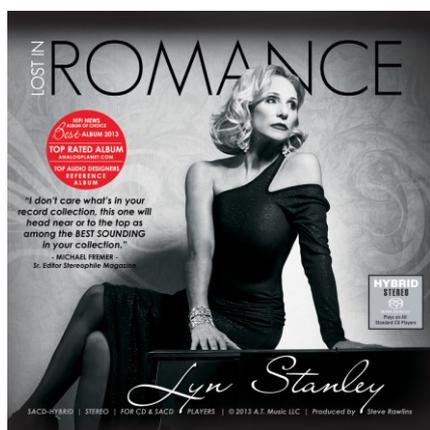


リン・スタンリーさん

JAS ジャーナルの読者諸兄は彼女について既にご存知の方も多いかもしいないが、ここで彼女の経歴とディスコグラフィーについて少しご紹介したい。

リン・スタンリーは 2013 年にデビュー作”LOST IN ROMANCE”でこの世界に彗星のように登場した。この最初のアルバム “LOST IN ROMANCE” は CD に加え、高音質 45 回転 LP (2 枚組) も発売し、演奏の素晴らしさはもちろんその優れた録音はたちまちハイエンドユーザーの注目するところとなった。事実、昨年 1 月にラスベガスで開催された CES や同時開催の T.H.E. Show では、多くのハイエンドオーディオのブースでこの LP がサウンドデモに使われ好評を博した。このニュースは世界のハイエンドオーディオ界に伝わり、ドイツのハイ

エンドショーをはじめ、世界のオーディオショーの多くのブースでこの LP や CD が演奏されることになり、リン・スタンリーの名声は急速に高まった。

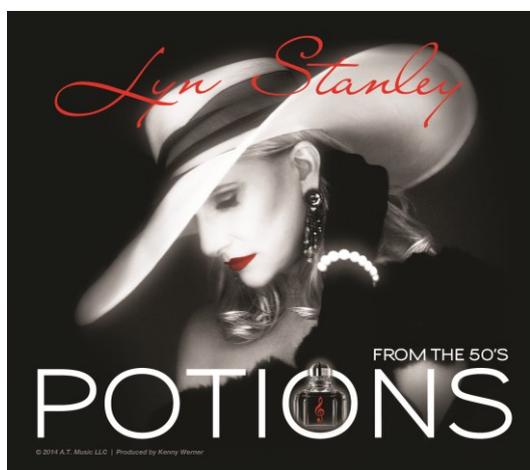


アルバム “LOST IN ROMANCE”



5 ハイエンドショーでのリン・スタンリーさんのライブ

そして、2014年に発売された第二弾のアルバム“POTIONS (FROM THE 50S)”で彼女のジャズ歌手としての地位は確たるものとなった。サブタイトルが示すようにこのアルバムには50年代の珠玉の名曲が収められている。ピアノにケニー・ワーナー、マイク・ラングなど、ベースにはマイク・ベラリオとヨハネス・ワイダミュラー、ドラムにジョー・ラ・バルベラなど、ジャズファンにはおなじみの一流のプレーヤーがリン・スタンリーの独自の解釈によるヴォーカルを支え、50年代のクラシックな曲に新たな命が吹き込まれている。これはハイエンドオーディオファンを意識して、高音質45回転LP(2枚組)、SA-CDに加え、2倍密度のDSD(5.6MHz)によるハイレゾダウンロード音源、さらに2トラ38cmのオープンテープも用意されている。素晴らしい演奏はもちろんであるが、その演奏をさらに引き立てているのが、最高の録音技術者たちによる細心の録音技術とハイレゾメディアの採用であろう。



アルバム“POTIONS (FROM THE 50S)”

この世界では新人の彼女にはこんなユニークなエピソードがある。

ワシントン州タコマで生を受けたリン・スタンリーは幼い頃、マリア・カラスの歌を聴いた時から歌手になりたいとの願望が芽生えた。しかし、その彼女の夢は実現することなくミシガン大学の博士課程でマスメディアを学び、卒業後は米国有名企業などで働き、また幾つかの大学でも広告宣伝やマーケティングを教えるなど充実したキャリアを積んで来た。一方ダンスをこよなく愛していた彼女は社交ダンサーとしての訓練を重ね、大きな試練に遭遇しながらも2010年には3つのプロ/

アマ米国ボールルームのタイトルを、また世界プロ/アマ選手権3位入賞など社交ダンスのナショナルチャンピオンとなり、エンターテイナーとしての成功も収めた。

その同じ年のこと、エラ・フィッツジェラルドのピアノ伴奏者としても知られる伝説のピアニスト、ポール・スミスにその歌の素質を認められ、彼の強い勧めにより歌手の道を歩むことになる。

ポール・スミスとの共演を重ねる中で、歌手として多くのファンが彼女のレコード発売を望む声が高まった。それに応えリン・スタンリーはレコード制作プロダクションを立ち上げることを決意する。無類のオーディオファンだった父親の影響でハイエンドオーディオに精通している彼女は、音質に関しても一切の妥協を排し自身のアルバム制作を手がけている。そしてレコーディングにはアル・シュミット、LPのカッティングやオープンテープのマスタリングはバニー・グランドマンを起用するなど、どの工程も彼女の望みうる最高のものに仕上げている。

彼女自ら International Recording Artist & Singer と名乗っているのは、その演奏とレコーディングに絶対の自信を持っているからであろう。世界のオーディオ誌がこぞって彼女の演奏はもちろんその音質を評価し、多くのハイエンドオーディオメーカーがサウンドデモに使用しているのがそれを裏付けている。そして、過去既に全世界で16,000組という驚異的なアルバム売り上げ

数こそがその証なのだ。

そして今秋また嬉しい発表がある。彼女の第三弾アルバム“Interludes”が11月に発売されるとのニュースだ。ここでも演奏、録音共に最高のメンバーが集結されている。ここで、少しでも彼女の録音風景のビデオをご覧頂きたい。

<https://m.youtube.com/watch?v=rKchvHGXi0I>



アルバム“Interludes”

そこでも直接サインをもらえるチャンスが待っている。

最後に皆様にリン・スタンリーさんからのメッセージを記しておく。

To my new fans in Japan:

Thank you for your warm hospitality and kindness in welcoming me to Japan to share my music with you. I am thrilled, and you have fulfilled a long awaited dream of mine-- to sing for you!

I am looking forward to releasing my new 3rd album, Interludes, for the first time anywhere--at the JAS show on October 16th, 2015 during my performance to celebrate our new friendship. May it last forever!

With gratitude,

Lyn Stanley

(概訳)「日本のファンの皆様、皆様の温かいご支援で待ちに待った日本で演奏ができることとても感激しています。10月16日「音展」での演奏が私たちの新しい友情の絆を育むようお願いを込めて、私の第3弾アルバム **Interludes** を世界に先駆けて日本で発売いたします。そしてその絆が永遠に続きますよう！感謝を込めて、リン・スタンリー」

リン・スタンリーの参加でさらに面白くなった「音展」。是非皆様お誘い合わせの上お出かけください。